

# ロシア系のサイバー犯罪集団の動きも活発化!! 拡大するサイバー攻撃の裾野にどう対応するか!?

ロシア系のサイバー犯罪集団が台頭しはじめるなど、ここ最近、サイバー攻撃の裾野が急速に広がっているという。そうしたなか、中小企業はいかにしてセキュリティ対策を講じていけばいいのだろうか。サイバー攻撃の最新動向とあわせて紹介したい。

## サイバー攻撃の裾野が拡大中

ロシア・ウクライナ情勢の悪化にともない、ロシア系のサイバー犯罪集団の動きが活発化してきている。日本政府や民間企業に対するサイバー攻撃を宣言したロシア系サイバー犯罪集団「キルネット」、ロシアが拠点とみられる世界最大のサイバー犯罪集団「ロックビット」などの話題が日本でも数多く報じられているところだ。そのうえ、昨今はサイバー攻撃のパターンも増加している。従来のサイバー攻撃は著名な企業や団体を狙う「標的型攻撃」が主流だったが、今年は攻撃側も被害側も多様化しており、知名度や規模に関係なく被害が拡大しているのだ。

むしろ、その広がりや数字にもあらわれている。情報処理推進機構（IPA）が2022年1月～同年6月に受けつけた届け出（サイバー攻撃関連）は合計263件に達しており、そのうちとくに増加したのが「コンピュータウイルスの検知・感染被害」だったという。なかでも、EMOTET（エモテット）／一般的なセキュリティ対策では検知しにくいマルウェアの一種）は昨年12月から猛威を振るい、被害届出数も前期の7件から174件へと大幅に増加。その後、被害はいったん沈静化したものの、この11月2日にはあらためて同タイプの被害が観測されたとのことなので要注意だ。

だが、このEMOTETの流行は脅威の第1歩にすぎない。事実、大量の不審メールを発生させたEMOTETの目的が「メールアドレスの収集やセキュリティレベルが低い組織の特定だった」と見る専門家も少なくない。そしてそれを証明するように、ランサムウェア（身代金要求ウイルス）の被害が今年上半年で114件に達するなど、前年下半期（85件）以降、右肩上がりが増加しているのだ。なかには顧客情報を詐取され、「貴方の個人情報を入力しました。悪用されたくなければ〇〇してください」といった脅迫メールを流されてしまった例もあるという。

## 最適なセキュリティ対策を

DXの機運が高まりつつあるなかで、こうしたサイバー攻撃が広がりつつあるのは実に由々しき事態だ。その点についてセキュリティシステムを手掛ける株ブロード（東京都千代田区）は「すべてのサイバー攻撃の8割以上の入口がメールとされており、これを確実に阻止することが重要だ」と指摘する。そして、そういった状況下でもっとも力を発揮するのがHP社のエンドポイントセキュリティ製品「HP Sure Click Enterprise（HP SCE）」だ。ブロードが日本の総代理店となっているこのシステムの特徴は「マイクロVM（仮想パソコン）を使った、他のセキュリティ製品とは抜本的に異なる技術」で、メールに含まれるマルウェアを種類を問わず確実にブロックできること。そのうえ、仮にマルウェアを開いたとしても対処する必要がないし、操作上、意識することもなしという。もちろん、より万全を期すならば、さらに複数のセキュリティシステムと掛け合わせるのも一案だ。たとえばEMOTETの被害事例には、たんにPCが感染したケースから侵害が他のサーバーに飛び火したケースまでいくつかの段階があるが、こうした「横展開」を防ぐには特権管理やパスワード管理といった対策が有効となる。が、これらの対策は生産性とのバランスが難しいので、ブロードではBeyondTrust社の特権管理製品など、セキュリティと生産性の両立を実現できるソリューションを提案している。企業・団体の状況や規模によって、最適なセキュリティソリューションは異なる。自社のセキュリティ対策に不安を感じたら、ブロードに相談してみてもどうか。



もう無駄な時間と費用は「0」にしましょう



HP Sure Click Enterprise

おかげさまでBromiumはHP Sure Click Enterpriseに進化しました



エンドポイントのサイバー対策に関する費用や専門家は、もう必要ありません。100%\* 防御し、レポートします。是非ブロードにお問い合わせください。

※2013年以降、Bromiumは推計20億以上のMicroVMが実行されましたが、侵害報告件数はゼロです。（Bromium社調べ）

詳細は【BROAD Security Square】で… <https://bs-square.jp/columbus>

株式会社ブロード

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスビル永田町7F  
TEL: 03-6205-7463 (代表)

